



国際ロータリー第 2690 地区 地区研修・協議会



世界に希望を生み出そう

期 日： 2023 年 4 月 16 日（日）

会 場： くにびきメッセ

主 催： 国際ロータリー第 2690 地区

地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭

ホストクラブ： 松江しんじ湖ロータリークラブ



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあ
る。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に
奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕
の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平
和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理
基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職
業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、
特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や
世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすよう
な言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラ
スメントのない環境を維持することを支援し、ハラス
メントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告し
た人への報復が起らないよう確認する。

(2019 年 1 月理事会会合、決定 119 号)

2023-24 年度 国際ロータリーのテーマ



**CREATE HOPE
in the WORLD**

世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 国際ロータリー会長

ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度国際ロータリー会長 プロフィール



ゴードン R. マッキナリー

スコットランド サウス・クイーンズフェリーロータリークラブ所属

エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016 年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984 年、26 歳でロータリーに入会。South Queensferry (サウス・クイーンズフェリー)ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー(RIBI)の会長と副会長、RI の理事と委員会メンバー(2022 年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など)を務めた。

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーとなること」と話す。

英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体と RIBI とのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供する Grantham Kesteven ロータリークラブ(英国リンカンシャー)のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関である Bipolar UK のアンバサダーを務めている。

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん(ロータリアン)とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。

孫娘たち(アイビーさん、フロレンスさん)が幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。



2023-24 年度テーマ講演

ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー会長エレクト

2023 年 1 月 9 日

ロータリー会員として今ほど素晴らしいときではないでしょう。私たちはロータリーで素晴らしく歴史的な年度の真ただ中にいます。正直なところ、この年度を早く終わらせたいと思う人はいないでしょう。

ですから、終わらせるのではなく、新しいはじまりを作りだそうではありませんか。年度の扉を閉めるのではなく、次年度への橋を築こうではありませんか。なぜなら、川が流れているなら、それを渡る方法があればありがたいからです。

私はかつて毎日、エディンバラにある私の歯科医院に車で通勤し、フォース川にかかるいくつかの有名な橋を通りすぎるときに、その例を目にしていました。これらの橋をご存知の方もおられると思いますが、これらは見事なエンジニアリングの象徴です。

フォース鉄道橋は、1890 年に開通しました。

フォース道路橋は 1964 年、最近ではクイーンズフェリークロッシング橋が 2017 年に開通しました。フォース橋の鉄道橋と道路橋を見ていつも感動するのは、これらがビジョンをもつ人たちによって建てられたということです。それは、けっして会うことのない人たちのためのビジョン、けっして知り合うことのない人たちのためのビジョン、それによって生活が改善される人たちのためのビジョンです。そのビジョンは、フォース橋の場合のように、建設から 133 年経った後も、利用者たちからありがたがられています。ロータリーの私たちのビジョンが、奉仕を受ける人たちからありがたがられているように。

今、ご自分の頭の中で橋のロゴを思い浮かべ、それがテーマに関連しているだろうと思っている方がいたら、そこでその考えをやめてください。たとえ話がすべてテーマであ

るわけではありません。同じように、次年度に皆さんが行うすべてのことが、これから発表するテーマの推進と支援にかかわるわけではありません。

私たちは、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。ジョーンズ会長とほかのロータリーリーダーたちが始めたことを土台として、今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

私たちは詩人マヤ・アンジェロウの次の言葉からインスピレーションを得るべきです。
「続けましょう／自分らしくあるために／思いやりある行いで／不親切な世界をあつと言わせるために」

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたロータリー会長たちの継続へのコミットメントを、私たちは目にしてきました。その結果は驚くべきものです。ローターアクトたちは引き続き、ロータリーで全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなることへの熱意を示すことで、私たちを勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支えあう新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

継続のもう一つの優れた例に、女兒のエンパワメントがあります。ジョーンズ会長は、メータ会長のプログラムを継続することでこの素晴らしい模範を示しました。この取り組みは、多くの点でロータリーが長年積み重ねてきたものであり、メータ会長がそれに名をつけて拡大させたのです。私の孫娘アイビーとフローレンスのように、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれらの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

私はまた、すべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョンを促進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。会員数は非常に重要ですが、DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。人びとがロータリーを見たとき、そこに自分

自身を見ることができるよう必要があります。そうなることができるかどうかは、私たち次第です。

継続にはほかにも二つの側面があり、それらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。一つ目は、ポリオです。ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であることはご存知だと思います。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間を、私たちは誇りとすることができます。

根絶の実現にどれだけ近づいているか、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言わたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私たちに必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

最近、世界の主要都市でポリオが発生したことで、この恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっています。根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値します。

ですから、各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考え、できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを私たちが提供すべき時が来ています。新たな緊急感を生み出し、世界の子どもの脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が必要です。ロータリーの夢を現実のものとするために、皆さんの力が必要です。

ポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク博士の次の賢明な言葉に、耳を傾ける必要があります：「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中にあります」。この言葉は、私たちのすべての活動にとって意味があり、ロータリー行動計画のあらゆる側面に当てはまります。この行動計画は、希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるものです。これを成し遂げるには、

- 既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
- 互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
- 世代や国境を超えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。

- 世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

そのために、ロータリー行動計画の目標においてほかのロータリアンと協力していただけることを願っています。なぜなら、そうするのがリーダーシップにおける継続の最良の手本であり、ロータリーのこれまでの最良の部分を土台としてさらに素晴らしいものを生み出すことだからです。

行動計画のうち、皆さん全員に既に暗記してほしいと思う部分があります。それはこのビジョン声明です：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ここで話の焦点を、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むという、ビジョン声明の二つの要素に当てたいと思います。そのために、これらのビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私たちが行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。

過去に何度もそうしてきたように、ロータリーは歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。惜しみなく寄付し、仲間を一心にサポートし、ウクライナの人びとから尊敬を集めてきました。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。これからの1年間、私たちはバーチャルな国際交流を導入します。これについては、今週後半にお知らせします。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければ

ばなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、すべての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れました。そこでは、2004年末の津波の後で、ロータリー会員が新しい家や集会場、保育所、医療施設の建設にあたっていました。そこで、ある女性が私に近寄ってきました。悲劇に直面した彼女は、やつれた様子でした。その女性は、私に美しい貝殻をくれました。

この貝殻は彼女が30年以上持ち続けていたものだと言います。数少ない所持品の一つだったこの貝殻を受け取ることを、最初はためらいました。しかし彼女は、ロータリーがしてくれたことへの感謝のしるしとして受け取ってほしいと言い張りました。後日、私は再びその女性に会い、彼女が津波で夫、娘、息子を失ったことを知りました。津波がすべてを奪ったのです。家族、家、生計を失い、そして何よりも、生き続ける希望と理由を失いました。しかし彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。

これは美しい貝殻です。私が次年度のテーマとその意味を検討していたとき、この貝殻だけでなく、存命するスコットランドの最も偉大なアーティストの一人で、Jolomoとしても知られるジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使用する色にも引き付けられました。私は長年、彼の作品を愛し、収集してきました。ネクタイとスカーフの色を選んでいたり、後ろのスクリーンでご覧いただけるように、そこに世界の色を反映させ、さらに重要なこととして、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。

タイの女性との思い出とこれらの色から、私は、今私たちが何をなすべきか、どんな行動を呼びかけるべきか、テーマは何であるべきかに気づきました。そこで、2023-24年度テーマは「世界に希望を生み出そう」であることをここにお知らせします。

世界に希望を生み出そう。これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法です。私たちは、一つずつ新たな希望を生み出しています。このテーマはまた、自分自身の中で同様の変化を生むのを促す方法を説明するものでもあります。なぜなら、地球上の多くの人にとって、希望を失う理由は物質的な貧困だけではないからです。私たちは皆、自分たちの幸せを脅かす課題に直面しています。平和の実践に大きな勇気が必要であるのと同じように、誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇気ある行動です。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代の一つが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が要ることです。

助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

今週の後半、私がメンタルヘルスのトピックを重視する理由をご説明します。次年度、そして願わくばそれ以降も、ロータリーの会員だけでなく地域社会の人びとのためにメンタルヘルスのシステムを改善するいくつかのステップについて話をお聞きいただきます。私は、ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

ほかの人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります。

ですから、次年度の私たちの計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動すべてにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。



地区ガバナーエレクト

いしくら さだあき

石倉 貞昭

生年月日 1940年10月29日生

所属RC 松江しんじ湖ロータリークラブ

職業分類 地質調査業

【略歴】

1963 年	島根県立島根農科大学林業科 卒業
1963 年	松江信用金庫（現しまね信用金庫） 入社
1993 年	しまね信用金庫 退社
1993 年	協和地建コンサルタント株式会社 代表取締役 就任
2013 年	協和地建コンサルタント株式会社 代表取締役 退任 取締役会長 就任

【ロータリー歴】

1995 年	松江しんじ湖ロータリークラブ入会
2009-10 年度	第 15 代クラブ会長
2016-17 年度	第 3 グループガバナー補佐
2022-23 年度	地区ガバナーエレクト

ロータリー財団	メジャードナー（レベル 1）
	ポール・ハリス・ソサエティ会員

第 2 回米山功労者マルチプル

地区ガバナーエレクトメッセージ

《2023-24 年度国際協議会報告》

COVID-19 の影響を受けて国内開催となっていた国際協議会が、3 年ぶりに米国フロリダ州オーランドのローゼンシングルクリークで開催されました。会期は、1 月 8 日から 12 日までの 5 日間。初日はオリエンテーションと歓迎晩餐会。2 日目から 4 日間は、午前午後とも長めの昼食を挟んで、本会議とそれに伴う分科会、夜は各種のテーマの晩餐会というスケジュールでした。

1 月 9 日午前中の本会議で、ゴードン R. マッキナリー氏の講演があり、2023-24 年度 RI 会長テーマ「世界に希望を生み出そう」が発表されました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人々を助け、過去のリーダー達が始めたイニシアチブをさらに引き継いでいくよう、全員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように希望を取り戻すことです。そうすれば、私たちは、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能になります」と述べました。

【平和の推進】

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだと、マッキナリー氏は述べ、過去 1 年間ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人々を支援するために、ロータリー会員が行動してきたことに言及しました。又、ウクライナだけでなく、イエメン・アフガニスタン・シリアをはじめ、世界の多く地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

【継続と変化】

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう呼びかけました。自身も、シエカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げた「女兒のエンパワーメント」イニシアチブを継続し、ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度会長のテーマ、多様性、公平性、インクル・ジョンを強調し

続けていくことを約束しました。

また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要になっていると述べました。

又、ロータリークラブとローターアクトクラブが、互いに協力し支えあう新しい方法を見つけ、続け続けられるかどうかは、私たちにかかっています、とも述べました。

【メンタルヘルスへの取り組み】

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいく、とマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。

それは、「ほかの人を助けることで、自分自身が助けられるのだ」に、ほかなりません。

【世界に希望を生み出そう】

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和・機会・生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対しオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」

あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。

地区ガバナーノミニー紹介



地区ガバナーノミニー

さかきばら

たかし

榊原 敬

生年月日 1961年(昭和36年)10月26日

所属 RC 岡山南 RC

職業分類 病院

略 歴

1986年3月 順天堂大学医学部卒業
1986年6月 順天堂大学附属順天堂医院外科
研修医
1987年4月 順天堂大学院医学研究科入学
(外科学第1講座)
1991年3月 順天堂大学院医学研究科卒業
(医学博士)
1992年6月 順天堂大学附属順天堂医院助手
(第1外科)
1993年1月 New York 州立 Roswell Park 癌研究所
留学(1995年1月迄)
1995年5月 東京都保健医療公社東部地域病院
医長
1997年2月 順天堂大学附属順天堂医院助手
(第1外科)
2000年4月 岡山大学医学部附属病院助手
(第1外科)
2000年5月 心臓病センター榊原東病院副院長
2001年10月 特定医療法人社団十全会副理事長
2012年5月 社会医療法人社団十全会理事長
2018年11月 心臓病センター榊原病院院長を兼務
現在に至る

資 格

1986年5月 第80回医師国家試験合格
日本外科学会認定医・専門医
日本消化器外科学会認定医・認定登録医・指導医
日本消化器内視鏡学会認定医・専門医・指導医・
中国支部評議員
日本消化器病学会認定医・専門医・指導医、
消化器がん外科治療認定医
日本臨床外科学会評議員・学会幹事

表 彰

日本消化器内視鏡学会優秀賞受賞(2009年)

医師会活動

2015年6月 岡山市医師会理事(2019年6月迄)
2018年6月 岡山県医師会理事(2022年6月迄)
2022年7月 岡山県医師会常任理事

社会活動

1981年7月 長野県北アルプス燕岳(2763m)・
夏山診療(燕山荘)ボランティア参加(2022年7月迄)
1998年4月 東京消防庁救急隊指導医(1999年3月迄)
2016年1月 岡山市防災会議委員(2016年8月迄)
2016年3月 岡山県南東部地域医療構想調整会議委員

ロータリー歴

2001年10月 岡山南ロータリークラブ 入会
2017-18年度 第62代副会長
2022-23年度 第67代会長

その他

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(6)
ベネファクター
ポール・ハリス・ソサエティ会員
第2回米山功労者マルチプル

地区ガバナーノミニー・デジグネート紹介



地区ガバナーノミニー・デジグネート

さかぐち もとあき
坂口 元昭

生年月日 1965 年(昭和 40 年)1 月 1 日

所 属 RC 米子南 RC

職業分類 石油販売

略 歴

1989 年 3 月 成城大学経済学部経済学科 卒業

1989 年 4 月 コスモ石油株式会社 入社

1994 年 1 月 山陰石油株式会社 入社

2005 年 5 月 山陰ジーエス・ユアサ株式会社

代表取締役社長 就任

2007 年 1 月 山陰石油株式会社代表取締役社長 就任

公 職

鳥取県石油協同組合 理事長

一般社団法人全国石油協会 副会長

全国石油商業組合連合会・全国石油業共済協同組合
連合会 理事

全国石油商業組合連合会中国支部 副支部長

米子商工会議 所第 2 号議員

米子地区防火安全協会 会長

一般社団法人米子青年会議所 第 45 代理事長

ロータリー歴

2009 年 11 月 米子南ロータリークラブ 入会

2021-22 年度 第 35 代会長

その他

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)

2023-24 年度ガバナー補佐紹介

第1 グループ



ふ り が な やました たくじ

氏 名 山下 卓治

所 属 R C 鳥取西 RC

生 年 月 日 1953 年 7 月 31 日

事業所/役職 株式会社山下設計工房 代表取締役

職 業 分 類 建築設計

【ロータリー歴】

1991 年 2 月 8 日 鳥取西 RC 入会

2014-15 年度 第 35 代会長

2021-22 年度 地区副代表幹事

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(5 回)

第 4 回米山功労者マルチプル

第2 グループ



ふ り が な ふくい りゅうすけ

氏 名 福井 龍介

所 属 R C 米子南 RC

生 年 月 日 1957 年 12 月 2 日

事業所/役職 株式会社フィディア 取締役会長

職 業 分 類 総合建設業

【ロータリー歴】

2011 年 3 月 14 日 米子南 RC 入会

2022 - 23 年度 第 38 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (1 回)

第 1 回米山功労者

第3 グループ



ふ り が な かつべ りょう

氏 名 勝部 亮

所 属 R C 松江東 RC

生 年 月 日 1947 年 4 月 18 日

事業所/役職 勝部歯科クリニック 院長

職 業 分 類 補綴歯科医

【ロータリー歴】

2000 年 9 月 7 日 松江東 RC 入会

2015 - 16 年度 第 29 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (1 回)

第 2 回米山功労者マルチプル

第4グループ



ふりがな はらだ あきなり
氏 名 原田 明成
所 属 R C 出雲南 RC
生 年 月 日 1960 年 8 月 2 日
事業所/役職 有限会社仏壇の原田 代表取締役社長
職 業 分 類 宗教用具配布

【ロータリー歴】

2001 年 2 月 9 日 出雲南 RC 入会
2017 - 18 年度 ROAR JAPAN (ロータリー
アマチュア無線クラブ) 全国会長
2015 - 16 年度 第 29 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(4 回)
ベネファクター
第 1 回米山功労者マルチプル
2008-09 年国際ロータリー第 2690 地区
「ロータリー全世界での探究賞」

第5グループ



ふりがな わはら かつひろ
氏 名 和原 勝博
所 属 R C 江津 RC
生 年 月 日 1955 年 8 月 30 日
事業所/役職 大成電気水道工業株式会社 常務取締役
江津営業所 所長
職 業 分 類 電気工事

【ロータリー歴】

2007 年 8 月 1 日 江津 RC 入会
2014-15 年度 第 50 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1 回)

第6グループ



ふりがな ふくしま けいすけ
氏 名 福嶋 啓祐
所 属 R C 笠岡東 RC
生 年 月 日 1951 年 8 月 25 日
事業所/役職 医療法人福嶋医院 理事長
職 業 分 類 内科医

【ロータリー歴】

1992 年 10 月 1 日 笠岡東 RC 入会
2012-13 年度 第 26 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(4 回)
ベネファクター
第 1 回米山功労者

第7グループ



ふりがな やまもと しんいち

氏 名 山本 真一

所 属 R C 児島東 RC

生 年 月 日 1949 年 7 月 11 日

事業所/役職 幸観堂薬品株式会社 取締役会長

職 業 分 類 調剤薬局

【ロータリー歴】

1998 年 10 月 12 日 児島東 RC 入会

2021-22 年度 第 49 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1 回)

第 1 回米山功労者

第8グループ



ふりがな まつなが あきら

氏 名 松永 章

所 属 R C 津山西 RC

生 年 月 日 1947 年 1 月 28 日

事業所/役職 有限会社大手町薬局メディカルクレオ
取締役会長

職 業 分 類 医薬品配布

【ロータリー歴】

1988 年 12 月 1 日 津山西 RC 入会

2011-12 年度 第 41 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2 回)

ベネファクター

第 1 回米山功労者

第9グループ



ふりがな しょこく しんたろう

氏 名 諸國 眞太郎

所 属 R C 岡山東 RC

生 年 月 日 1955 年 4 月 17 日

事業所/役職 下肢静脈瘤日帰りセンター
諸國眞太郎クリニック 院長

職 業 分 類 外科医

【ロータリー歴】

2010 年 3 月 4 日 岡山東 RC 入会

2020-21 年度 第 53 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(7 回)

ポール・ハリス・ソサエティ会員

第 3 回米山功労者

第10グループ



ふりがな きぐち こういち
氏 名 木口 浩一
所 属 R C 岡山旭川 RC
生 年 月 日 1958 年 3 月 12 日
事業所/役職 株式会社カーサ・カレラ 代表取締役
職 業 分 類 総合建設業

【ロータリー歴】

1993 年 12 月 8 日 岡山旭川 RC 入会
2011-12 年度 第 22 代会長
2020-21 年度 第 31 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2 回)

第11グループ



ふりがな いのき けんじ
氏 名 猪木 健二
所 属 R C 岡山岡南 RC
生 年 月 日 1964 年 7 月 3 日
事業所/役職 おかやま番町法律事務所 共同代表弁護士
職 業 分 類 刑事弁護士

【ロータリー歴】

1994 年 3 月 22 日 岡山岡南 RC 入会
2008-09 年度 第 16 代会長
2017-18 年度 第 25 代会長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2 回)
ベネファクター
第 2 回米山功労者マルチプル

ご 来 賓 名 簿

国際ロータリー理事	佐 藤 芳 郎 (岡 山 南 RC)
地区ガバナー	友 末 誠 夫 (津 山 RC)
パストガバナー	鳥 居 滋 (岡 山 東 RC)
パストガバナー	伊 藤 文 利 (倉 吉 RC)
パストガバナー	森 本 信 一 (津 山 RC)
パストガバナー	松 本 祐 二 (益 田 西 RC)
パストガバナー	庄 司 尚 史 (境 港 RC)
パストガバナー	末 長 範 彦 (岡 山 RC)
パストガバナー	菊 池 捷 男 (岡 山 西 RC)
直前ガバナー	岩 崎 陽 一 (鳥 取 西 RC)
地区ガバナーノミニー	榊 原 敬 (岡 山 南 RC)
地区ガバナーノミニー・デジグネート	坂 口 元 昭 (米 子 南 RC)
地区代表幹事	河 本 秀 生 (津 山 RC)
次々期地区代表幹事	西 川 智 晴 (岡 山 南 RC)
地区会計長	吉 田 誠 五 (津 山 RC)

国際ロータリー第2690地区

地区研修・協議会 プログラム

日時：2023 年 4 月 16 日（日） 10：00-17：00

会場：くにびきメッセ 1F 多目的ホール

本会議

敬称略

司会：2023-24 年度地区副代表幹事 久保田一朗

09：30 登録・受付

10：00 点鐘 地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭

開会の言葉 2023-24 年度地区代表幹事 幡 宏明

ロータリーソング「奉仕の理想」 ソングリーダー 高濱 範子

ホストクラブ会長挨拶 松江しんじ湖RC会長 大内 茂

ご来賓紹介 地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭

2023-24 年度地区研修リーダー紹介 地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭

2023-24 年度地区研修リーダー挨拶 2023-24 年度地区研修リーダー 古瀬 俱之

2023-24 年度ガバナー補佐、地区役員紹介 地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭

地区ガバナー挨拶 地区ガバナー 友末 誠夫

地区代表幹事報告 地区代表幹事 河本 秀生

地区会計長報告 地区会計長 吉田 誠五

10：40 地区ガバナーエレクト基調講演 地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭

11：20 2021-22 年度ロータリー財団認証バナー・感謝状贈呈 直前ガバナー 岩崎 陽一

11：50～12：50 昼食・休憩

部門別協議会 13：00～14：30

全体会議

司会：2023-24 年度地区副代表幹事 久保田一朗

15：00	地区ガバナーノミニー挨拶	地区ガバナーノミニー	榊原 敬
	地区ガバナーノミニー・デジグネット挨拶		
		地区ガバナーノミニー・デジグネット	坂口 元昭
	2023-24 年度地区代表幹事挨拶	2023-24 年度地区代表幹事	幡 宏明
	2023-24 年度地区会計長挨拶	2023-24 年度地区会計長	森脇 宏
15：30	部門別協議会報告		
	会長部門	地区ガバナーエレクト	石倉 貞昭
	幹事部門	2023-24 年度地区代表幹事	幡 宏明
	職業奉仕部門	2023-24 年度第 1 G ガバナー補佐	山下 卓治
	社会奉仕部門	2023-24 年度第 2 G ガバナー補佐	福井 龍介
	国際奉仕部門	2023-24 年度第 3 G ガバナー補佐	勝部 亮
	青少年奉仕部門	2023-24 年度第 4 G ガバナー補佐	原田 明成
	2023-24 年度地区研修リーダー所感	2023-24 年度地区研修リーダー	古瀬 俱之
	謝辞	地区ガバナーエレクト	石倉 貞昭
	2023-24 年度地区大会について	2023-24 年度地区大会実行委員長	若佐 博之
	閉会の言葉	2023-24 年度地区代表幹事	幡 宏明
16：50	点鐘	地区ガバナーエレクト	石倉 貞昭
	お知らせ	SAA	小草 牧子

2023-24 年度 地区目標

地区スローガン

「希望の種を播きましょう。育てましょう。」

クラブ運営で常に心がけていただきたい事

「クラブ例会の再確認」

「公共イメージの向上」

「新会員の研修」

最重点目標

1 会員増強

- 各クラブ純増最低 1 名 地区会員数 3、000 人に回復

重点目標

2 地域のニーズに合致した奉仕活動の実施

- 地区補助金、グローバル補助金の活用

3 ロータリー賞の取得を目指す

4 ポリオ根絶への協力

- 世界ポリオデー(10 月 24 日)にあわせてのイベント開催
- ポリオプラスへの寄付 30 米ドル/人
- ポリオプラスへの寄付ゼロクラブ ゼロを目指す

5 ロータリー財団への支援

- 年次基金への寄付 150 米ドル/人
- 年次基金への寄付ゼロクラブ ゼロを目指す

6 ロータリーカード取得・利用の協力

7 米山奨学会への支援

- 普通寄付 5, 000 円/人 特別寄付 10, 000 円/人

8 メンタルヘルスへの対応

- IMのテーマとしての検討

9 2024 年国際大会への参加

- シンガポール(2024 年 5 月 25～29 日)各グループ 10 名以上

ロータリー賞の目標と

達成方法に関する説明



ロータリー賞は、各年度に優れた取り組みを行ったクラブを表彰するものです。ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブがロータリー賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、クラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格である「正規に RI に加盟している」とは、RI からのクラブ請求書の金額を遅延なく全額支払ったクラブを意味します。クラブが RI 請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARY の「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください。（このレポートで未納金残高が 0 ドルとなっている必要があります）。1 月中旬または 7 月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、速やかにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにあるものの目標のうち少なくとも半分の目標を選ぶことができますこのような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ロータリークラブ・セントラルを開く
- 目標の内容を確認する
- その中から少なくとも半分の目標を選択する
- 選んだ目標を達成する
- 6 月 30 日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

2023 年 2 月

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「**目標設定・確認センター**」をクリックし、年度を選び、「**すべて**」をクリックしてください。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
会員と参加促進	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている ¹
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000 ドル以上の寄付の件数

¹2023-24 ロータリー年度からの新たな目標

ロータリー賞の目標と

達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に 1,000 ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度に直接対面式またはバーチャル形式でクラブが支援する RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数

2023 年 2 月

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料）使用した回数

2023 年 2 月

本会議

2021-22 年度ロータリー財団認証バナー・感謝状贈呈クラブ

● 年次基金への一人当たりの寄付額 上位 3 クラブ

1. 出雲南 RC 2. 岡山後楽園 RC 3. 境港 RC

● 100%ロータリー財団寄付クラブ

倉 吉 RC	倉 吉 東 RC	鳥 取 RC	松 江 東 RC	出 雲 RC
出雲中央 RC	出雲南 RC	大 社 RC	江 津 RC	笠岡東 RC
総社吉備路 RC	児 島 RC	児 島 東 RC	倉 敷 RC	倉敷中央 RC
倉 敷 東 RC	倉敷水島 RC	倉敷瀬戸内 RC	美 作 RC	津山中央 RC
津 山 西 RC	備 前 RC	岡 山 東 RC	岡山北西 RC	岡山後楽園 RC
岡山旭川 RC	岡山中央 RC	岡山南 RC	岡山備南 RC	岡山岡南 RC
岡山丸の内 RC	岡山西南 RC			

● 「Every Rotarian, Every Year」クラブ

倉 吉 東 RC	松 江 東 RC	出 雲 RC	出雲中央 RC	出雲南 RC
大 社 RC	江 津 RC	笠岡東 RC	総社吉備路 RC	児 島 RC
児 島 東 RC	倉 敷 RC	倉敷中央 RC	倉 敷 東 RC	倉敷水島 RC
倉敷瀬戸内 RC	美 作 RC	津山中央 RC	津 山 西 RC	備 前 RC
岡山北西 RC	岡山後楽園 RC	岡山旭川 RC	岡山中央 RC	岡山南 RC
岡山岡南 RC	岡山丸の内 RC	岡山西南 RC		

● End Polio Now:「歴史をつくるカウントダウン」キャンペーン感謝状

鳥 取 RC	米 子 RC	米 子 東 RC	松 江 東 RC	松 江 南 RC
平 田 RC	出 雲 RC	出雲中央 RC	出雲南 RC	大 社 RC
浜 田 RC	益 田 西 RC	井 原 RC	笠岡東 RC	倉 敷 RC
倉 敷 東 RC	真 庭 RC	岡 山 東 RC	岡山後楽園 RC	岡山北 RC
岡山南 RC	岡山丸の内 RC	岡山西 RC	岡山西南 RC	

部門別協議会 役割分担

部門	カウンセラー	リーダー	副リーダー	SAA	記 録	会 場
会長	地区ガバナー 友末 誠夫 (津山 RC) 直前ガバナー 岩崎 陽一 (鳥取西 RC)	地区ガバナーエレクト 石倉 貞昭 (松江しんじ湖 RC)	地区ガバナーノミニー 榎原 敬 (岡山南 RC)	桐木 道弘 (松江しんじ湖 RC)	持田 朝子 (松江しんじ湖 RC)	くにびきメッセ 1F 多目的 ホール
幹事	2023-24 年度 地区研修リーダー 古瀬 俱之 (出雲中央 RC)	2023-24 年度 地区代表幹事 幡 宏明 (松江しんじ湖 RC)	2024-25 年度 地区代表幹事 西川 智晴 (岡山南 RC)	小草 牧子 (松江しんじ湖 RC)	野元 利幸 (松江しんじ湖 RC)	くにびきメッセ 1F 小ホール
職業奉仕	パストガバナー 伊藤 文利 (倉吉 RC) パストガバナー 菊池 捷男 (岡山西 RC)	2023-24 年度 第 1 グループ ガバナー補佐 山下 卓治 (鳥取西 RC)	2023-24 年度 第 5 グループ ガバナー補佐 和原 勝博 (江津 RC) 2023-24 年度 第 9 グループ ガバナー補佐 諸國 眞太郎 (岡山東 RC)	村上 克春 (松江しんじ湖 RC)	貴谷 麻以 (松江しんじ湖 RC)	くにびきメッセ 6F 601 会議室
社会奉仕	パストガバナー 松本祐二 (益田西 RC) パストガバナー 末長 範彦 (岡山 RC)	2023-24 年度 第 2 グループ ガバナー補佐 福井 龍介 (米子南 RC)	2023-24 年度 第 6 グループ ガバナー補佐 福嶋 啓祐 (笠岡東 RC) 2023-24 年度 第 10 グループ ガバナー補佐 木口 浩一 (岡山旭川 RC)	峠田 晃宏 (松江しんじ湖 RC)	蛸原 浩人 (松江しんじ湖 RC)	くにびきメッセ 3F 国際会議場
国際奉仕	パストガバナー 森本 信一 (津山 RC) パストガバナー 庄司 尚史 (境港 RC)	2023-24 年度 第 3 グループ ガバナー補佐 勝部 亮 (松江東 RC)	2023-24 年度 第 7 グループ ガバナー補佐 山本 真一 (児島東 RC) 2023-24 年度 第 11 グループ ガバナー補佐 猪木 健二 (岡山岡南 RC)	大内 茂 (松江しんじ湖 RC)	福岡 達也 (松江しんじ湖 RC)	くにびきメッセ 3F 国際会議場
青少年奉仕	国際ロータリー理事 佐藤 芳郎 (岡山南 RC) パストガバナー 鳥居 滋 (岡山東 RC)	2023-24 年度 第 4 グループ ガバナー補佐 原田 明成 (出雲南 RC)	2023-24 年度 第 8 グループ ガバナー補佐 松永 章 (津山西 RC)	高濱 範子 (松江しんじ湖 RC)	浜崎 晃 (松江しんじ湖 RC)	くにびきメッセ 5F 501 会議室

部門別協議会【会長部門】

- 1.新入会員の研修について
- 2.地区スローガン・地区目標について
- 3.地区資金予算（案）について
- 4.その他
- 5.カウンセラーより

【会長部門】出席者名簿

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	友 末 誠 夫	津 山
	岩 崎 陽 一	鳥 取 西

会場: 1F 多目的ホール

役 職	氏 名	クラブ名
リ ー ダ ー	石 倉 貞 昭	松江しんじ湖
副 リ ー ダ ー	榊 原 敬	岡 山 南
オブザーバー	坂 口 元 昭	米 子 南

G	クラブ名	氏 名
第一グループ	智 頭	加 藤 達 生
	倉 吉	馬 野 慎 一 郎
	倉 吉 中 央	種 子 晋 司
	倉 吉 東	足 立 由 里 子
	鳥 取	松 本 宏 思
	鳥 取 中 央	藤 田 泰 央
	鳥 取 北	入 江 容 子
	鳥 取 西	米 花 廉 友
第二グループ	境 港	赫 太 郎
	米 子	中 津 尾 健
	米 子 中 央	小 林 一 人
	米 子 東	佐 田 山 有 史
	米 子 南	宇 佐 見 明
第三グループ	松 江	大 野 光 徳
	松 江 東	清 水 正 紀
	松 江 南	皆 美 佳 邦
	松江しんじ湖	又 賀 敬 子
	隠 岐 西 郷	高 井 初 子
第四グループ	平 田	清 原 正 幸
	出 雲	武 志 俊 太 郎 ※
	出 雲 中 央	伊 藤 浩
	出 雲 南	錦 織 正
	大 社	小 松 博 幸
第五グループ	江 津	佐 々 木 一 成
	浜 田	茶 円 宥 勝
	益 田	田 原 裕 司
	益 田 西	岡 崎 寛
	大 田	中 村 文 香
第六グループ	井 原	佐 藤 英 雄 ※
	笠 岡	津 田 謙 二
	笠 岡 東	長 鋪 方 隆
	新 見	田 原 茂 穂 ※
	総 社	児 島 塊 太 郎
	総 社 吉 備 路	佐 野 重 治
	高 梁	小 林 重 樹
	玉 島	中 塚 裕 和

G	クラブ名	氏 名
第七グループ	児 島	藤 井 昭 佐
	児 島 東	大 江 則 男
	倉 敷	佐 藤 理
	倉 敷 中 央	小 河 原 洋 子
	倉 敷 東	松 本 ゆ み
	倉 敷 南	土 井 修
	倉 敷 水 島	中 田 利 幸
	倉 敷 瀬 戸 内	中 山 田 英 樹
第八グループ	真 庭	池 元 由 通
	美 作	山 本 裕 二
	津 山	廣 田 裕
	津 山 中 央	寺 坂 磨 哉
	津 山 西	坂 野 充 典
第九グループ	備 前	甲 矢 了 二
	岡 山	松 岡 徹
	岡 山 東	佐 々 木 篤
	岡 山 北 西	相 原 利 行
	岡 山 後 楽 園	松 井 浩 明
第十グループ	岡 山 旭 川	原 口 正 行
	岡 山 中 央	赤 松 明 子
	岡 山 北	岸 本 達 也
	岡 山 南	延 原 正 浩
	玉 野	小 林 弘 幸
第十一グループ	岡 山 備 南	河 口 亮 一
	岡 山 城	綱 島 良
	岡 山 岡 南	磯 邊 崇
	岡 山 丸 の 内	林 英 男
	岡 山 西	福 嶋 裕 美 子
	岡 山 西 南	和 田 治 郎

※代理出席者

役職	氏 名	クラブ名
S A A	桐 木 道 弘	松江しんじ湖
記 録	持 田 朝 子	松江しんじ湖

部門別協議会【幹事部門】

1.クラブ例会の再確認について

2.クラブ幹事の役割について

3.国際ロータリー第 2690 地区年間行事予定表・地区委員会組織図について

4.地区目標達成について

5.地区資金予算（案）について

6.地区大会・ガバナー公式訪問について

7.その他、ご要望（資料・情報提供）などについて

8.カウンセラーより

【幹事部門】出席者名簿

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	古 瀬 俱 之	出 雲 中 央

G	クラブ名	氏 名
第一グループ	智 頭	平 尾 義 之
	倉 吉	松 井 啓 介
	倉 吉 中 央	井 木 寅 雄
	倉 吉 東	笠 田 直 樹 ※
	鳥 取	清 水 昭 生
	鳥 取 中 央	坂 本 健 一
	鳥 取 北	田 村 博 信
	鳥 取 西	千 馬 高 広
第二グループ	境 港	浜 田 貴 稔
	米 子	服 島 龍 男
	米 子 中 央	大 西 幸 人
	米 子 東	舩 田 正 一
	米 子 南	田 中 貴 之
第三グループ	松 江	木 村 俊 一 郎
	松 江 東	浅 野 裕 好
	松 江 南	物 部 伸 吾
	松江しんじ湖	吉 村 日 出 国
	隠 岐 西 郷	前 川 昌 昭
第四グループ	平 田	松 浦 剛 司
	出 雲	内 藤 輝 一
	出 雲 中 央	鳥 屋 尾 恭 一
	出 雲 南	布 野 浩 之
	大 社	山 本 成 二
第五グループ	江 津	久 保 田 泰 介
	浜 田	久 保 田 英 治
	益 田	田 上 尚 志
	益 田 西	伊 藤 恵 三
	大 田	田 中 礼 祐
第六グループ	井 原	西 野 昇
	笠 岡	岡 本 章
	笠 岡 東	山 本 茂 雅
	新 見	田 原 隆 盛
	総 社	別 府 洋 吾
	総 社 吉 備 路	河 本 一 平
	高 梁	難 波 一 也
	玉 島	山 口 克 則

会場: 1F 小ホール

役 職	氏 名	クラブ名
リ ー ダ ー	幡 宏 明	松江しんじ湖
副 リ ー ダ ー	西 川 智 晴	岡 山 南

G	クラブ名	氏 名
第七グループ	児 島	佐 藤 雷
	児 島 東	神 馬 真 一 郎
	倉 敷	森 正 博
	倉 敷 中 央	原 田 よ り 子
	倉 敷 東	藤 波 安 勇
	倉 敷 南	山 本 由 佳 里
	倉 敷 水 島	植 田 充 彦
	倉 敷 瀬 戸 内	岡 田 恭 典
第八グループ	真 庭	富 松 文 治
	美 作	金 谷 典 子
	津 山	井 上 治
	津 山 中 央	北 原 賢 一 郎
	津 山 西	影 山 和 成
第九グループ	備 前	徳 永 夕 子
	岡 山	安 原 博
	岡 山 東	小 橋 雅 治
	岡 山 北 西	森 本 剛 仁
	岡山後楽園	古 和 聡
第十グループ	岡山旭川	井 上 範 幸
	岡山中央	三 澤 壮 一 郎
	岡山北	永 山 雅 己
	岡山南	黒 田 季 之
	玉 野	槌 田 正 則
第十一グループ	岡山備南	吉 永 敏 貴
	岡山城	藤 井 崇 行
	岡山岡南	佐 野 実
	岡山丸の内	大 月 始
	岡山西	中 川 洋 子
	岡山西南	十 鳥 圭 祐

※代理出席者

役職	氏 名	クラブ名
S A A	小 草 牧 子	松江しんじ湖
記 録	野 元 利 幸	松江しんじ湖

部門別協議会【職業奉仕部門】

1.クラブでの職業奉仕活動事例について

2.2023・24 年度で計画されている活動について

3.職業奉仕とは何か、また、職業奉仕とは何をすべきとお考えでしょうか。
また、クラブ内にて意見交換するような機会について

4.その他

5.カウンセラーより

【職業奉仕部門】出席者名簿

役職	氏名	クラブ名
カウンセラー	伊 藤 文 利	倉 吉
	菊 池 捷 男	岡 山 西

会場:6F 601 会議室

役職	氏名	クラブ名
リーダー	山 下 卓 治	鳥 取 西
副リーダー	和 原 勝 博	江 津
	諸 國 眞 太 郎	岡 山 東

G	クラブ名	氏 名
第一グループ	倉 吉	長 谷 川 勝 矢
	倉 吉 中 央	穂 近 亮 士 ※
	鳥 取	倉 下 光 明
	鳥 取 中 央	江 澤 孝 嗣
	鳥 取 北	松 原 雄 平
	鳥 取 西	市 場 康 稔
第二グループ	境 港	浜 田 一 哉
	米 子	山 根 宏 典
	米 子 中 央	鈴 木 眞 樹
	米 子 東	中 元 啓 介
	米 子 南	野 上 一 成
第三グループ	松 江	錦 織 伸 行
	松 江 東	宮 内 厚
	松 江 南	足 達 明 彦
	松江しんじ湖	尾 添 憲 男
	隠 岐 西 郷	山 本 眞 知 子
第四グループ	平 田	加 藤 昇
	出 雲	小 野 恵 司
	出 雲 中 央	児 玉 治
	出 雲 南	井 上 克 夫
	大 社	野 村 広 子
第五グループ	江 津	難 波 和 彦
	浜 田	螺 山 郁 繁
	益 田	佐々井智恵子 ※
	益 田 西	渋 谷 勝
	大 田	黒 瀬 徳 嗣
第六グループ	井 原	青 木 茂
	笠 岡	板 本 栄 一 ※
	笠 岡 東	鈴 木 紘 一
	新 見	小 林 柁 弘
	総 社	高 橋 貢 ※
	総 社 吉 備 路	山 本 有 道
	高 梁	松 本 圭 司
	玉 島	片 山 洋 太 郎

G	クラブ名	氏 名
第七グループ	児 島	三 宅 智 也
	児 島 東	西 山 芳 男
	倉 敷	橋 本 眞 治
	倉 敷 中 央	二 宮 厚 子
	倉 敷 東	小 野 久 ※
	倉 敷 南	井 上 朗 弘
	倉 敷 水 島	笹 山 悦 郎
	倉 敷 瀬 戸 内	筒 井 紀 行
	真 庭	小 林 高 光
第八グループ	美 作	阿 部 芳 孝
	津 山	亀 井 朗
	津 山 中 央	有 本 次 男
	津 山 西	中 村 早 百 合
	備 前	石 原 伊 知 郎
第九グループ	岡 山	杉 山 愼 策
	岡 山 東	中 井 拓 司
	岡 山 北 西	与 田 卓 士
	岡 山 後 楽 園	赤 畠 耕 一 路
第十グループ	岡 山 旭 川	中 川 雄 二
	岡 山 中 央	勝 本 光 平 ※
	岡 山 北	吉 田 穰 人
	岡 山 南	田 辺 樹 弘
	玉 野	谷 口 康 則
	岡 山 備 南	黒 川 善 和
第十一グループ	岡 山 城	笠 原 武
	岡 山 岡 南	中 村 有 作
	岡 山 丸 の 内	天 野 伸 一
	岡 山 西	千 原 多 美 子
	岡 山 西 南	河 合 智 哉 ※

※代理出席者

役職	氏 名	クラブ名
S A A	村 上 克 春	松江しんじ湖
記 録	貴 谷 麻 以	松江しんじ湖

部門別協議会【社会奉仕部門】

1. これまでの社会奉仕活動の内容について
2. 地区補助金等の活用について
3. その他、ご要望（資料・情報提供）などについて
4. カウンセラーより

【社会奉仕部門】出席者名簿

役職	氏名	クラブ名
カウンセラー	松 本 祐 二	益 田 西
	末 長 範 彦	岡 山

G	クラブ名	氏 名
第1グループ	倉 吉	牧 田 侑 紀
	倉 吉 中 央	谷 口 宗 弘
	倉 吉 東	磯 江 淳
	鳥 取	平 井 耕 司
	鳥 取 中 央	植 田 史 郎
	鳥 取 北	千 金 周 一
	鳥 取 西	大 野 憲 一
第2グループ	境 港	谷 田 真 基
	米 子	上 野 一 郎
	米 子 中 央	田 子 光 範
	米 子 東	中 村 剛 士
	米 子 南	仲 田 竜 也
第3グループ	松 江	谷 口 正 人
	松 江 東	桑 谷 優 子
	松 江 南	和 久 本 光
	松江しんじ湖	久 保 田 一 朗
	隠 岐 西 郷	繁 浪 只 男
第4グループ	平 田	土 江 光 二
	出 雲	桐 原 善 行
	出 雲 中 央	朝 山 一 玄
	出 雲 南	竹 田 和 彦
第5グループ	大 社	大 隅 正 弘
	江 津	増 田 敏 弘
	浜 田	伊 原 憲 吾
	益 田	村 木 繁 ※
第6グループ	益 田 西	須 山 鈴 治
	大 田	下 垣 勇
	井 原	小 塚 一 史
	笠 岡	横 山 祥 平
	笠 岡 東	原 田 俊 三
	新 見	柴 田 政 伸
	総 社	上 野 英 子 ※
	総 社 吉 備 路	薬 師 寺 公 一
	高 梁	磯 村 尚 子
	玉 島	初 村 幸 蔵

会場:3F 国際会議場

役職	氏名	クラブ名
リーダー	福 井 龍 介	米 子 南
副リーダー	福 嶋 啓 祐	笠 岡 東
副リーダー	木 口 浩 一	岡 山 旭 川

G	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	難 波 恭 一 郎
	児 島 東	長 尾 実
	倉 敷	大 久 保 憲 作
	倉 敷 中 央	楠 戸 登 美 夫
	倉 敷 東	三 宅 顕 隆
	倉 敷 南	渡 辺 清 二
	倉 敷 水 島	太 田 博 朗
	倉 敷 瀬 戸 内	大 迫 寛 良
	真 庭	富 岡 裕 和
第8グループ	美 作	小 阪 田 泰 彦
	津 山	朝 比 奈 史 章
	津 山 中 央	松 尾 俊 明 ※
	津 山 西	土 田 美 由 紀
第9グループ	備 前	幡 山 寛 念
	岡 山	大 塚 泰 文
	岡 山 東	藤 坂 浩 匡
	岡 山 北 西	原 全 伸 ※
第10グループ	岡 山 後 楽 園	芝 田 堅 志
	岡 山 旭 川	宇 佐 美 英 司
	岡 山 中 央	江 原 芳 男
	岡 山 北	宮 井 宏
第11グループ	岡 山 南	深 美 隆
	玉 野	三 宅 照 正
	岡 山 備 南	岡 原 洋 介
	岡 山 城	柳 智 弘
	岡 山 岡 南	北 村 政 行
	岡 山 丸 の 内	西 村 篤 志
	岡 山 西	平 野 幸 司
	岡 山 西 南	田 中 英 樹

※代理出席者

役職	氏 名	クラブ名
S A A	峠 田 晃 宏	松江しんじ湖
記 録	蛭 原 浩 人	松江しんじ湖

部門別協議会【国際奉仕部門】

1. これまでの国際奉仕活動の内容について
2. 地区世界社会奉仕資金（DWCS）や地区補助金等の活用について
3. 米山記念奨学会への寄付について、その取り組みについて
4. その他、ご要望（資料・情報提供）などについて
5. カウンセラーより

【国際奉仕部門】出席者名簿

役職	氏名	クラブ名
カウンセラー	森 本 信 一	津 山
	庄 司 尚 史	境 港

G	クラブ名	氏 名
第1グループ	倉 吉 森 和 美	
	倉 吉 中 央 鈴 木 英 一	
	倉 吉 東 岡 野 壮 人	
	鳥 取 大 村 匡 由	
	鳥 取 中 央 西 面 美 都 子	
	鳥 取 北 寺 本 光 孝	
	鳥 取 西 徳 吉 公 司	
第2グループ	境 港 島 谷 一 憲	
	米 子 平 田 阜 士	
	米 子 中 央 磯 岩 輝 昭	
	米 子 東 松 浦 啓 介	
	米 子 南 牛 尾 稔	
第3グループ	松 江 河 原 八 郎	
	松 江 東 岸 田 和 俊 ※	
	松 江 南 景 山 英 俊	
	松江しんじ湖 福 間 達 也	
	隠 岐 西 郷 大 江 寿	
第4グループ	平 田 杉 原 朋 之	
	出 雲 石 原 一 徳	
	出 雲 中 央 金 山 均	
	出 雲 南 塩 野 裕 士	
	大 社 多 久 和 豊	
第5グループ	江 津 室 崎 拓 勝	
	浜 田 鶴 田 英 也	
	益 田 廣 兼 重 孝 ※	
	益 田 西 松 倉 慎 治 ※	
	大 田 田 原 辰 男	
第6グループ	井 原 綾 仁 一 哉 ※	
	笠 岡 齋 藤 丘	
	笠 岡 東 高 橋 剛 吉	
	新 見 渡 邊 誠	
	総 社 三 宅 誠 一	
	総 社 吉 備 路 倉 田 正 春 ※	
	高 梁 金 尾 恭 士	
	玉 島 中 原 隆 洋	

会場:3F 国際会議場

役職	氏名	クラブ名
リーダー	勝 部 亮	松 江 東
副リーダー	山 本 真 一	児 島 東
副リーダー	猪 木 健 二	岡 山 岡 南

G	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島 曾 根 和 孝	
	児 島 東 小 河 原 通 弘	
	倉 敷 小 河 原 敏 嗣	
	倉 敷 中 央 原 田 よ り 子	
	倉 敷 東 宅 和 博 彦	
	倉 敷 南 石 本 満 雄	
	倉 敷 水 島 辻 俊 彦	
	倉 敷 瀬 戸 内 今 村 隆 英 ※	
	真 庭 朝 崎 玄 暢	
第8グループ	美 作 中 山 道 雄	
	津 山 梶 岡 秀 成	
	津 山 中 央 國 米 一 朗	
	津 山 西 谷 口 康 子	
	備 前 延 原 巖	
第9グループ	岡 山 中 島 義 雄	
	岡 山 東 宗 森 秀 成	
	岡 山 北 西 藤 木 希 実 子 ※	
	岡 山 後 楽 園 土 井 基 之	
	岡 山 旭 川 小 西 英 昭	
第10グループ	岡 山 中 央 河 田 隆 介	
	岡 山 北 牧 本 太 郎	
	岡 山 南 浅 原 晶 子	
	玉 野 山 田 耕 裕	
	岡 山 備 南 木 下 修 二	
第11グループ	岡 山 城 新 免 雄 二 郎	
	岡 山 岡 南 榊 谷 公 登	
	岡 山 丸 の 内 高 嶋 雅 一	
	岡 山 西 森 本 浩 平	
	岡 山 西 南 松 下 典 裕	

※代理出席者

役職	氏 名	クラブ名
S A A	大 内 茂	松江しんじ湖
記 録	福 間 達 也	松江しんじ湖

部門別協議会【青少年奉仕部門】

1. 過去 2～3 年における青少年奉仕活動について、その評価および反省点について
2. 2023-24 年度で計画されている活動について
3. ローターアクト、インターアクト、青少年交換について
4. その他
5. カウンセラーより

【青少年奉仕部門】出席者名簿

会場:5F 501 会議室

役職	氏名	クラブ名
カウンセラー	佐藤 芳郎	岡山 南
	鳥居 滋	岡山 東

役職	氏名	クラブ名
リーダー	原田 明成	出雲 南
副リーダー	松永 章	津山 西

G	クラブ名	氏名
第1グループ	倉吉 吉	井戸 垣 昌 延
	倉吉 中央	山口 明 洋
	倉吉 東	佐藤 義 和
	鳥取	竹内 ひ と み
	鳥取 中央	植田 史 郎
	鳥取 北	福田 収
	鳥取 西	廣谷 全 宣
第2グループ	境 港	松井 尚 成
	米 子	稲田 政 美
	米子 中央	坂根 登
	米子 東	古杉 淳
	米子 南	川上 登 ※
第3グループ	松江 江	高梨 泰 至
	松江 東	天野 正 道
	松江 南	下手 将 人
	松江しんじ湖	浜崎 晃
	隠岐 西郷	繁浪 只 男
第4グループ	平 田	荒木 克 之
	出雲 雲	影山 晃 司
	出雲 中央	池淵 俊 雄
	出雲 南	増原 一 憲
	大 社	洪 季 龍
第5グループ	江 津	杉野 友 哉
	浜 田	大崎 宏
	益 田	矢富 邦 久 ※
	益 田 西	村上 誠 一
	大 田	岡本 久 美 子
第6グループ	井 原	片山 浩 二
	笠 岡	柳生 晋 伸
	笠 岡 東	三島 大 尚
	新 見	井石 和 美
	総 社	秋山 幸 子 ※
	総社吉備路	津高 篤
	高 梁	福本 洋 之
	玉 島	小野 裕 之

G	クラブ名	氏名
第7グループ	児島 島	須藤 洋 一
	児島 東	片山 彰 造
	倉敷 敷	目黒 隆 三 郎
	倉敷 中央	原田 より 子
	倉敷 東	今岡 誠
	倉敷 南	野口 和 之
	倉敷 水島	近藤 修 六 ※
	倉敷瀬戸内	森岡 雅 彦
	真庭	牧野 晃 久
第8グループ	美作	上杉 有 梨
	津山 山	吉田 縉 史
	津山 中央	中西 寛 治
	津山 西	小林 將 之
	備前	安井 元 子
第9グループ	岡山 山	室賀 康 史
	岡山 東	辻 和 英
	岡山 北西	笠原 英 司
	岡山後楽園	藤原 學
	岡山旭川	難波 俊 弘
第10グループ	岡山 中央	小林 豊 ※
	岡山 北	内座 隆 文
	岡山 南	寺坂 秀 之
	玉野	山中 剛 ※
	岡山備南	安藤 道 則
第11グループ	岡山 城	小仁井 堅 一
	岡山 岡南	山下 孝 暁
	岡山丸の内	寺尾 悟
	岡山 西	高木 達 也
	岡山 西南	小林 賢 治 ※

※代理出席者

役職	氏名	クラブ名
S A A	高濱 範 子	松江しんじ湖
記録	浜崎 晃	松江しんじ湖

全体会議

部門別協議会報告

会長部門	地区ガバナーエレクト	石	倉	貞	昭
幹事部門	次期地区代表幹事	幡		宏	明
職業奉仕部門	次期ガバナー補佐	山	下	卓	治
社会奉仕部門	次期ガバナー補佐	福	井	龍	介
国際奉仕部門	次期ガバナー補佐	勝	部		亮
青少年奉仕部門	次期ガバナー補佐	原	田	明	成

主 催 者 名 簿

地区ガバナーエレクト	石 倉 貞 昭 (松江しんじ湖 RC)
次期地区研修リーダー	古 瀬 俱 之 (出 雲 中 央 RC)
第1グループ 次期ガバナー補佐	山 下 卓 治 (鳥 取 西 RC)
第2グループ 次期ガバナー補佐	福 井 龍 介 (米 子 南 RC)
第3グループ 次期ガバナー補佐	勝 部 亮 (松 江 東 RC)
第4グループ 次期ガバナー補佐	原 田 明 成 (出 雲 南 RC)
第5グループ 次期ガバナー補佐	和 原 勝 博 (江 津 RC)
第6グループ 次期ガバナー補佐	福 嶋 啓 祐 (笠 岡 東 RC)
第7グループ 次期ガバナー補佐	山 本 真 一 (児 島 東 RC)
第8グループ 次期ガバナー補佐	松 永 章 (津 山 西 RC)
第9グループ 次期ガバナー補佐	諸 國 眞 太 郎 (岡 山 東 RC)
第10グループ 次期ガバナー補佐	木 口 浩 一 (岡 山 旭 川 RC)
第11グループ 次期ガバナー補佐	猪 木 健 二 (岡 山 岡 南 RC)
次期地区代表幹事	幡 宏 明 (松江しんじ湖 RC)
次期地区会計長	森 脇 宏 (松江しんじ湖 RC)
次期地区副代表幹事	久 保 田 一 朗 (松江しんじ湖 RC)
次期地区大会実行委員長	若 佐 博 之 (松江しんじ湖 RC)
次期地区庶務幹事	小 草 牧 子 (松江しんじ湖 RC)
次期地区庶務幹事	福 間 達 也 (松江しんじ湖 RC)
地区研修・協議会担当幹事	桐 木 道 弘 (松江しんじ湖 RC)
地区研修・協議会担当幹事	村 上 克 春 (松江しんじ湖 RC)
地区研修・協議会担当幹事	浜 崎 晃 (松江しんじ湖 RC)
地区研修・協議会担当幹事	上 田 恭 己 (松江しんじ湖 RC)
ホストクラブ会長	大 内 茂 (松江しんじ湖 RC)
ホストクラブ会長エレクト	又 賀 敬 子 (松江しんじ湖 RC)
ホストクラブ幹事	平 川 和 良 (松江しんじ湖 RC)
ホストクラブ次期幹事	吉 村 日 出 国 (松江しんじ湖 RC)



国際ロータリー第 2690 地区
地区研修・協議会
出席報告

氏名

Name

職業分類

Classification

所属クラブ

Home Club

国際ロータリー第 2690 地区 地区研修・協議会に出席されたことを
報告します。

2023 年 4 月 16 日

国際ロータリー第 2690 地区
次期地区代表幹事
幡 宏明

奉仕の理想

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン

2. 手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン

国際ロータリー第 2690 地区
地区ガバナーエレクト

石倉 貞昭

〒690-0852 松江市千鳥町 36
TEL:0852-26-2690 FAX:0852-26-2690
E-mail:ishikura2690@theia.ocn.ne.jp